



# Windows Server 2012R2で Magic xpi を使用する 際の設定について



OUTPERFORM THE FUTURE™



# IISインストールの確認と 機能の追加



OUTPERFORM THE FUTURE™



## IISインストールの確認

---

- Magic xpi をインストールするには、あらかじめIISをインストールしておく必要があります。Magic xpi をインストールした後に、IISにエイリアスが作成されていることを以下の要領で確認してください。
- [スタート]画面 -> [管理ツール]アイコン -> [管理]画面 -> インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャーを起動します。
- 「サーバホーム / サイト / Default Web Site」に「Magicxpi34」サイトが作成されていることを確認します。また、コンテンツビューを開き、「Magicxpi3.4インストールフォルダ¥Scripts」下に各種ファイルがあることを確認します。(次ページ参照)



# IISインストールの確認

インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー

PS2012R2 > サイト > Default Web Site > Magicxpi34

ファイル(E) 表示(V) ヘルプ(H)

接続

- スタート ページ
- PS2012R2 (PS2012R2\*Adm)
- アプリケーション プール
- サイト
  - Default Web Site
    - aspnet\_client
    - HCAP
    - Magicxpi34**
    - webmonitor
      - externalfile
      - images
      - logfiles
    - Magicxpi4
    - Magicxpi4\_1
    - RDWeb
    - Rpc
    - RpcWithCert
    - sugarcrm
    - WSDL

/Magicxpi34 コンテンツ

フィルター: 検索(G) | すべて表示(A) | グループ化:

名前	種類
webmonitor	ファイル フォルダー
CrtVDir.exe	アプリケーション
CrtVDir_IIS7.exe	アプリケーション
ErrorPage.htm	HTM ファイル
iBOLTErrrorPage.htm	HTM ファイル
ibolt-splash.jpg	JPEG イメージ
mgreq.ini	構成設定
MGrqcgi.exe	アプリケーション
MGrqgnrc.dll	アプリケーション拡張
MGrqgnrc94.dll	アプリケーション拡張
MGrqhttp94.dll	アプリケーション拡張
MGrqispi.dll	アプリケーション拡張
MGrqispi94.dll	アプリケーション拡張
MgRqSoap.dll	アプリケーション拡張
MGWStyles.css	CSS ファイル

機能ビュー **コンテンツ ビュー**

準備完了

操作

- 'Magicxpi34' タスク
- アプリケーション
- 機能ビューに切り替え
- エクスプローラー
- アクセス許可の編集...
- アプリケーションの追加...
- 仮想ディレクトリの追加...
- アプリケーションの管理
- 参照
- 詳細設定...
- 最新の情報に更新(R)
- 削除
- 展開
- アプリケーションのエクスポート...
- アプリケーションのインポート...
- アプリケーションとコンテンツの削除
- リサイクル...
- ヘルプ



# IIS機能の追加

- Magic xpi のHTTP、WebServiceコンポーネントを使用するには、IISの機能を追加する必要があります。以下の手順でサーバの役割を追加してください。

1. タスクバー上のサーバーマネージャーをクリックし、サーバーマネージャーを起動し、ダッシュボードの②役割と機能の追加をクリックします。





# IIS機能の追加

2. 「役割と機能の追加ウィザード」が表示されるので、「開始する前に」→「インストールの種類」画面に遷移したところで、「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択し、「次へ」をクリックします。

The image shows two overlapping screenshots of the 'Role and Feature Addition Wizard' (役割と機能の追加ウィザード) for server PS2012R2.

**Left Screenshot (Before Starting):** The 'Before Starting' (開始する前に) screen is shown. The 'Installation Type' (インストールの種類) step is highlighted in the left sidebar. A red arrow points from the 'Next' (次へ) button at the bottom right to the 'Next' button on the right screenshot.

**Right Screenshot (Select Installation Type):** The 'Select Installation Type' (インストールの種類) screen is shown. The 'Installation Type' step is highlighted in the left sidebar. The option 'Install on a role-based or feature-based server' (役割ベースまたは機能ベースのインストール) is selected and highlighted with a red box. The 'Next' (次へ) button at the bottom right is also highlighted with a red box.

**Text on the 'Select Installation Type' screen:**

インストールの種類を選択します。役割および機能は、実行中の物理コンピューター、仮想コンピューター、またはオフラインの仮想ハードディスク (VHD) にインストールできます。

- 役割ベースまたは機能ベースのインストール**  
役割、役割サービス、および機能を追加して、1 台のサーバーを構成します。
- リモート デスクトップ サービスのインストール  
仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) に必要な役割サービスをインストールして、仮想マシン ベースまたはセッション ベースのデスクトップ展開を作成します。



# IIS機能の追加

3. 「対象サーバーの選択」画面で、「サーバープールからサーバーを選択」あるいは「仮想ハードディスクから選択」のうち該当のものを選択し、対象サーバーをサーバープールから選択します。その後、「次へ」を選択します。

対象サーバーの選択

対象サーバー  
PS2012R2

開始する前に  
インストールの種類  
サーバーの選択  
サーバーの役割  
機能  
確認  
結果

役割と機能をインストールするサーバーまたは仮想ハード ディスクを選択します。

サーバープールからサーバーを選択  
 仮想ハード ディスクから選択

サーバー プール

フィルター:

名前	IP アドレス	オペレーティング システム
PS2012R2	10.3.0.79	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard

1 台のコンピューターが見つかりました

このページには、Windows Server 2012 を実行しており、サーバー マネージャーの [サーバーの追加] コマンドを使用して追加されたサーバーが表示されます。オフライン サーバーや、データ収集が完了していない、新たに追加されたサーバーは表示されません。

< 前へ(P) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル



## IIS機能の追加

4. 「サーバーの役割の選択」画面が表示されます。以下の役割サービスが選択されていることを確認し、選択されていない場合はチェックボックスにチェックをいれてください。

- ・Webサーバ(IIS)

- ・Webサーバー

- ・HTTP共通機能

- ✓既定のドキュメント

- ✓静的なコンテンツ

- ・セキュリティ

- ✓要求フィルター

- ・アプリケーション開発

- ✓.NET 拡張機能4.5

- ✓ASP.NET 4.5

- ✓CGI

- ✓ISAPI フィルター

- ✓ISAPI 拡張

- ・管理ツール

- ✓IIS管理コンソール

- ✓IIS 6 管理互換





# IIS機能の追加

役割と機能の追加ウィザード

対象サーバー  
PS2012R2

## サーバーの役割の選択

開始する前に  
インストールの種類  
サーバーの選択  
**サーバーの役割**  
機能  
確認  
結果

選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。

役割	説明
<input checked="" type="checkbox"/> Web サーバー (IIS) (41/43 個をインストール済み)	Web サーバー (IIS) は、信頼性、管理性に優れた、スケーラブルな Web アプリケーション インフラストラクチャです。
<input checked="" type="checkbox"/> Web サーバー (インストール済み)	
<input checked="" type="checkbox"/> HTTP 共通機能 (インストール済み)	
<input checked="" type="checkbox"/> セキュリティ (インストール済み)	
<input checked="" type="checkbox"/> パフォーマンス (インストール済み)	
<input checked="" type="checkbox"/> 状態と診断 (インストール済み)	
<input checked="" type="checkbox"/> アプリケーション開発 (インストール済み)	
<input checked="" type="checkbox"/> .NET 拡張機能 3.5 (インストール済み)	
<input checked="" type="checkbox"/> .NET 拡張機能 4.5 (インストール済み)	
<input checked="" type="checkbox"/> Application Initialization (インストール済み)	
<input checked="" type="checkbox"/> ASP (インストール済み)	
<input checked="" type="checkbox"/> ASP.NET 3.5 (インストール済み)	
<input checked="" type="checkbox"/> ASP.NET 4.5 (インストール済み)	
<input checked="" type="checkbox"/> CGI (インストール済み)	

< 前へ(P)    次へ(N) >    インストール(I)    キャンセル

※左図には選択されている項目が多数ありますが、前ページの項目が選択されていれば問題ありません。



# IIS機能の追加

## 5. 「次へ」をクリックします。

役割と機能の追加ウィザード

対象サーバー  
PS2012R2

### 機能の選択

開始する前に  
インストールの種類  
サーバーの選択  
サーバーの役割  
**機能**  
確認  
結果

選択したサーバーにインストールする機能を 1 つ以上選択します。

機能	説明
<input checked="" type="checkbox"/> .NET Framework 3.5 Features (1/3 個をインストール済み)	<p>.NET Framework 3.5 は、魅力的なユーザー インターフェイスや、ユーザーの個人情報の保護、シームレスで安全な通信、幅広いビジネス プロセスをモデリングする機能を提供するアプリケーションを構築できる新しいテクノロジーと、.NET Framework 2.0 API の強力な機能とを組み合わせます。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)	
<input type="checkbox"/> HTTP アクティブ化	
<input type="checkbox"/> 非 HTTP アクティブ化	
<input checked="" type="checkbox"/> .NET Framework 4.5 Features (インストール済み)	
<input type="checkbox"/> BitLocker ドライブ暗号化	
<input type="checkbox"/> BitLocker ネットワーク ロック解除	
<input type="checkbox"/> BranchCache	
<input type="checkbox"/> Direct Play	
<input checked="" type="checkbox"/> HTTP プロキシを経由した RPC (インストール済み)	
<input type="checkbox"/> IIS ホスト可能な Web コア	
<input type="checkbox"/> IP アドレス管理 (IPAM) サーバー	
<input type="checkbox"/> ISNS サーバー サービス	
<input type="checkbox"/> LPR ポート モニター	
<input type="checkbox"/> Management Objects (MO) 拡張機能	

< 前へ(P) **次へ(N) >** インストール(I) キャンセル



# IIS機能の追加

## 6. 「インストール」をクリックします。

The screenshot shows the 'Add Roles and Features Wizard' window. The title bar reads '役割と機能の追加ウィザード'. The main window title is 'インストール オプションの確認'. The target server is identified as '対象サーバー PS2012R2'. The left sidebar contains a list of steps: '開始する前に', 'インストールの種類', 'サーバーの選択', 'サーバーの役割', '機能', '確認' (highlighted), and '結果'. The main content area contains the following text: '選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インストール] をクリックしてください。' followed by a checkbox labeled '必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する'. Below this is a note: 'オプションの機能 (管理ツールなど) は、自動的に選択されるため、このページに表示されている可能性があります。これらのオプションの機能をインストールしない場合は、[前へ] をクリックして、チェック ボックスをオフにしてください。' A large empty box contains the text '選択した機能の一覧が出ます。'. At the bottom, there are navigation buttons: '< 前へ(P)', '次へ(N) >', 'インストール(I)' (highlighted with a red box), and 'キャンセル'. A link at the bottom left reads '構成設定のエクスポート 代替ソースパスの指定'.



# IIS機能の追加

7. 「サーバーマネージャー / IIS」でインストールされている役割サービスを確認します。

The screenshot shows the Windows Server Manager interface. The left-hand navigation pane has the 'IIS' option highlighted with a red box. The main area is divided into two sections: '使用可能なメモリ' (Available Memory) and '役割と機能' (Roles and Features). The '役割と機能' section shows a list of installed roles and features for server PS2012R2, with the entire list highlighted by a red box.

サーバー名	名前	種類	パス
PS2012R2	Web サーバー (IIS)	役割	Web サーバー (IIS)
PS2012R2	.NET 拡張機能 3.5	役割サービス	Web サーバー (IIS)*Web サーバー*アプリケーション開発*.NET 拡張機能
PS2012R2	ASP	役割サービス	Web サーバー (IIS)*Web サーバー*アプリケーション開発*ASP
PS2012R2	CGI	役割サービス	Web サーバー (IIS)*Web サーバー*アプリケーション開発*CGI
PS2012R2	ISAPI 拡張	役割サービス	Web サーバー (IIS)*Web サーバー*アプリケーション開発*ISAPI 拡張
PS2012R2	ISAPI フィルター	役割サービス	Web サーバー (IIS)*Web サーバー*アプリケーション開発*ISAPI フィル



# HTTP/Web Serviceコンポーネント を使用する場合の設定

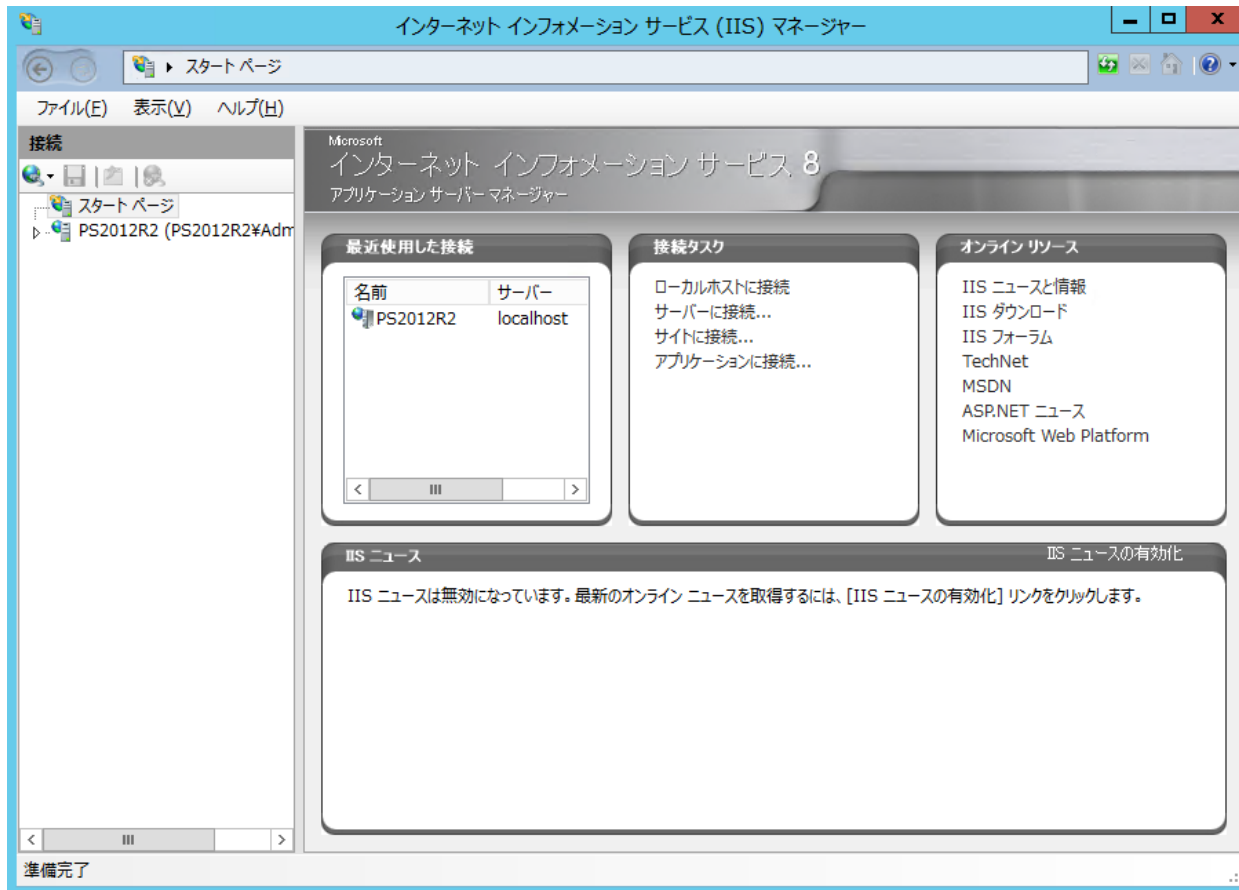


OUTPERFORM THE FUTURE™



# IISの設定

- Magic xpiインストール後、IISマネージャにて設定の変更を行います。
  - [スタート]画面 → [管理ツール]アイコン → [管理]画面 → インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャーを起動します。





# アプリケーションプールの設定

- 「サーバホーム/アプリケーションプール/DefaultAppPoolの詳細設定を開き、「32ビットアプリケーションの有効化」をTrueに設定します。

インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー

PS2012R2 > アプリケーションプール

アプリケーション プール

このページでは、アプリケーション プールの一覧。アプリケーション プールはワーカー プロセスに関連を含み、異なるアプリケーションを分離させます。

名前	状態
.NET v2.0	開始済
.NET v2.0 Classic	開始済
.NET v4.5	開始済
.NET v4.5 Classic	開始済
Classic .NET AppPool	開始済
<b>DefaultAppPool</b>	開始済
HCAPPool	開始済
MagicxpiAppPool_x64	開始済
MagicxpiAppPool_x86	開始済
RDWebAccess	開始済
sugarcrm	開始済

詳細設定

4 (全般)	
.Net CLR バージョン	v4.0
<b>32 ビット アプリケーションの有効化</b>	<b>True</b>
キューの長さ	1000
マネージ パイプライン モード	Integrated
開始モード	OnDemand
名前	DefaultAppPool
4 CPU	
プロセッサ関係の有効化	False
プロセッサ関係マスク	4294967295
プロセッサ関係マスク (64 ビット版)	4294967295
制限 (%)	0
制限間隔 (分)	5
制限動作	NoAction
4 プロセス モデル	
ID	ApplicationPoolIdentity
Ping の有効化	True
Ping 間隔 (秒)	30
Ping 最大応答時間 (秒)	90

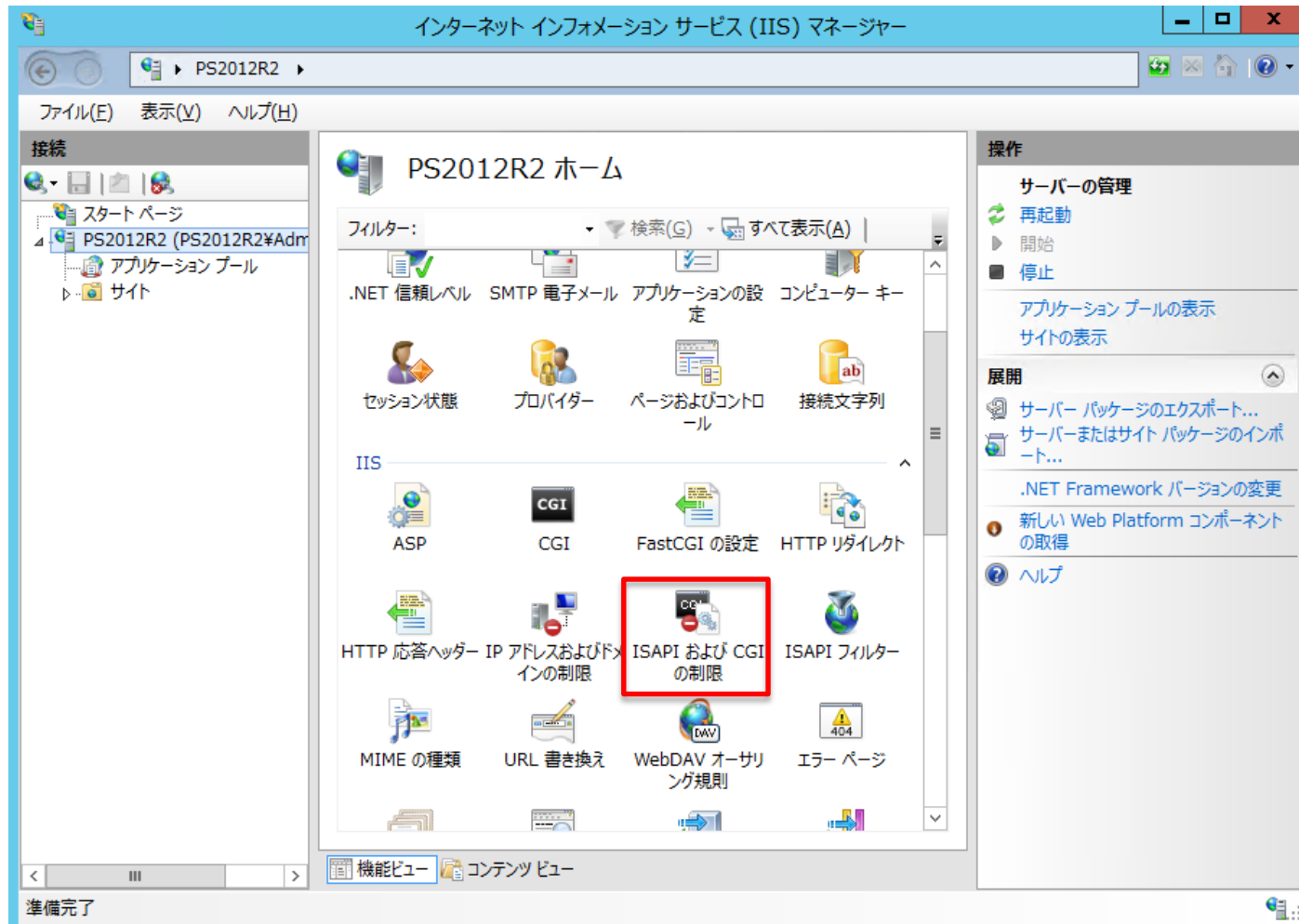
名前  
[name] アプリケーション プール名は、アプリケーション プールを一意に識別する名前です。

OK キャンセル



# ISAPIおよびCGIの制限の設定

1. 「サーバホーム/ISAPIおよびCGIの制限」を起動します。







# ISAPIおよびCGIの制限の設定

- 操作「追加」をクリックし、「ISAPIまたはCGIの制限の追加」を表示します。  
mgrqispi.dllを登録し、あわせて「拡張パスの実行を許可する」をチェックします。

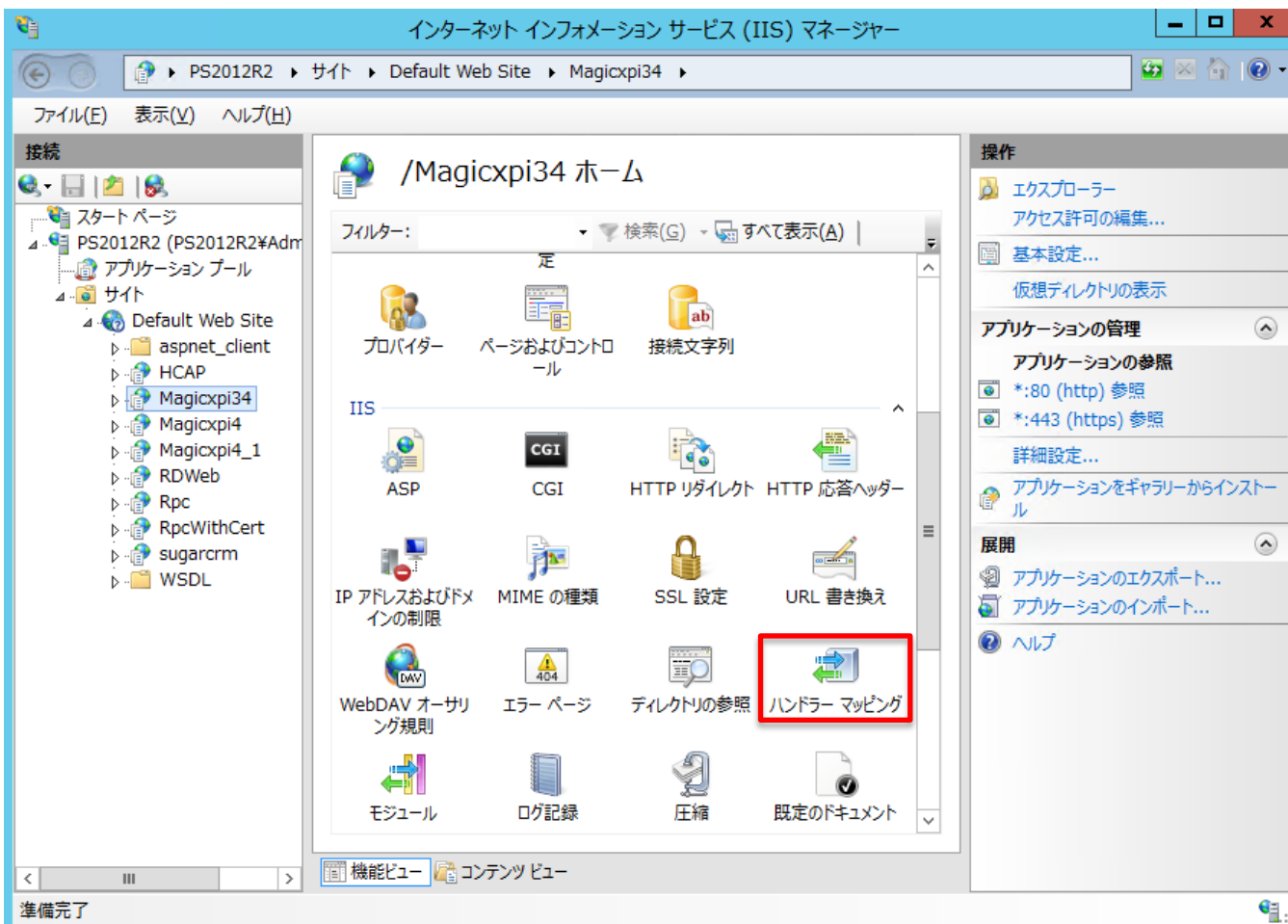
The screenshot shows the IIS Manager interface for the PS2012R2 server. The main window displays the 'ISAPI および CGI の制限' (ISAPI and CGI Restrictions) page. A table lists various extensions and their permissions. The 'Magicxpi3.4' entry is highlighted with a red box. A red arrow points from the '追加..' (Add..) button in the '操作' (Actions) pane to the 'Magicxpi3.4' row. Another red arrow points from the '追加..' button to the 'ISAPI または CGI の制限の編集' (Edit ISAPI or CGI Restrictions) dialog box. The dialog box shows the path 'D:\Magicxpi3.4\scripts\MGrqispi.dll' entered in the 'ISAPI または CGI パス(I):' field, 'Magicxpi3.4' in the '説明(D):' field, and the checkbox '拡張パスの実行を許可する(A)' checked.

説明	制限	パス
[説明なし]	許可	C:%Windows%System32%hc
Active Server Pages	許可	C:%Windows%system32%in
ASP.NET v2.0.50727	許可	C:%Windows%Microsoft.NE
ASP.NET v2.0.50727	許可	C:%Windows%Microsoft.NE
ASP.NET v4.0.30319	許可	C:%Windows%Microsoft.NE
ASP.NET v4.0.30319	許可	%windir%Microsoft.NE%
Magicxpi3.4	許可	D:%Magicxpi3.4%scripts%M
RPC Pro... Server Ex...	許可	%windir%System32%Rpc



# ハンドラーマッピングの設定

1. 「サーバホーム / サイト / Default Web Site / Magicxpi34 / ハンドラーマッピング」を起動します。







# Microsoft Excel / Microsoft Word コンポーネントの使用について



OUTPERFORM THE FUTURE™



# Magic xpi Service 起動でのOffice連携

---

- Windows Vista 以降のOSでは、セキュリティ対策の一環として、セッション0分離の対応がされています。
- <http://msdn.microsoft.com/ja-jp/windows/dd871151.aspx>
- <http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/aa480152.aspx#EGFAE>
- Windows 8、Windows Server 2012、Windows Server 2012R2では、更に対応が進み、Magic xpi Service 経由 (Windowsのサービス) で起動された Magic xpi サーバでは、Microsoft Excelコンポーネント、およびMicrosoft Wordコンポーネントを利用したOffice連携処理が正しく動作しません。Office連携処理を行う場合は、Magic xpi Service を使用せず、MRB(Magic Request Broker)を直接起動していただく必要があります。MRBの存在するフォルダ、およびファイル名は以下の通りです。
- フォルダ : Magic xpi インストールフォルダ
- ファイル名 : uniRQBroker.exe